

なかがわ 議会だより

No **102**

2012.10

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



農業まつり 9月2日

主な 内容

- 第3回 定例会（9月19日～21日）
 - ・一般質問（4氏）
- 第2回 臨時会（7月31日）
- 議会関連報告等

平成23年度 一般会計他5会計 決算審査特別委員会を設置し審査へ

一般会計予算補正…財政調整基金積立金 2億7千639万円追加
民間賃貸住宅建設支援補助金 2千4百万円減額

第三回定例会

平成24年9月19日招集

平成二十四年第三回定例会は九月一九日招集され、会期を二十一日までとし、四議員の一般質問、議案十件、意見書一件、会議規則四件を決議し、認定六件は決算審査特別委員会に付託され、二十一日閉会しました。

議案審議結果

【報告事項】

▼平成二十三年中川町健全化判断比率の報告【報告済】
早期健全化基準等に該当せず

▼平成二十三年中川町資金不足比率の報告【報告済】
経営健全化基準等に該当せず

【条例など】

▼中川町防災会議条例の一部を改正する条例【原案可決】
災害対策基本法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正

▼中川町災害対策本部条例の一部を改正する条例

【原案可決】

災害対策基本法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正

▼中川町出生祝金支給条例の一部を改正する条例

【原案可決】

外国人登録法の廃止に伴い、本条例の一部を改正

▼中川町住宅新築・リフォーム促進条例の一部を改正する条例
【原案可決】
外国人登録法の廃止に伴い、本条例の一部を改正

▼中川町過疎地域自立促進計画の変更
【原案可決】
北海道総合行政ネットワーク更新整備事業、住宅新築・リフォーム助成事業を計画に追加する変更

【予算】

▼平成二十四年中川町一般会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ三〇〇、九六一千円を追加し、予算総額をそれぞれ三、六三八、九六〇千円とする
【原案可決】

主な補正内容は財政調整基金積立金の追加及び森林整備

事業基幹作業道開設工事費などの追加

▼平成二十四年中川町国民健康保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ二、〇五九千円を追加し、予算総額をそれぞれ二三八、九二九千円とする
【原案可決】

主な補正内容は人件費などの追加

▼平成二十四年中川町介護保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ五、八一〇千円を追加し、予算総額をそれぞれ一九一、〇八〇千円とする
【原案可決】

主な補正内容は地域密着型介護サービス給付費などの追加

▼平成二十四年中川町簡易水道事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ三八、五四八千円を追加し、予算総額をそれぞれ三一五、五一二千円とする
【原案可決】

主な補正内容は水道管移設補償工事費などの減額

▼平成二十四年中川町農業集落排水事業特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ四五八千円を追加し、予算総額をそれぞれ一九四、九〇六千円とする
【原案可決】
主な補正内容は農業集落排水事業償還基金造成事業補助などの減額

【意見書】

▼地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

■地方自治法第九十九条の規定に基づき衆参両院議長、内閣総理大臣及び関係各大臣に送付
※意見書は三ページに掲載

【会議規則に伴うもの】

▼委員会調査期限延期要求（総務常任委員会）

■事件

1 介護保険事業の推進状況について
2 食育推進活動の実態について

3 その他の所管する事務事業の推進状況について
期限

平成二十四年第四回定例会
まで【決定】

▼委員会調査期限延期要求
(経済常任委員会)

■事件

- 1 農業振興の具体的な取り組みについて
- 2 公の施設に係る指定管理について
- 3 生活環境基盤整備の整備及び維持状況について

■期限

平成二十四年第四回定例会
まで【決定】

▼閉会中の継続調査の申し出
(議会運営委員会)

■事件

- 1 議会の運営に関する事項について
- 2 議会のあり方と活性化対策について

■期限

平成二十四年第四回定例会
まで【継続調査決定】

▼上川管内町村議会議長研修
会及び平成二十四年度上川管
内町村議会議員研修会

【議員派遣決定】

第二回臨時会

平成24年7月31日招集

平成二十四年第二回臨時会
は七月三十一日招集され、会
期を一日と決し、承認一件、
議案三件を決議し閉会しまし
た。

議案審議結果

専決処分の承認を求めること
について

■平成二十四年度中川町一般
会計予算補正 【原案承認】

主な補正内容は地震に伴う
公営住宅営繕工事及び備品購
入費などの追加

▼工事請負契約の締結につい
て(平成二十四年度中川簡易
水道施設整備工事)

【原案可決】

■契約方法：指名競争入札

■契約金額：一六九、〇五〇、
〇〇〇円

■相手方：旭川市三条通十九
丁目右十号

高組・中川建協・新栄 経
常建設共同企業体 代表者
株式会社 高組 取締役社長
高 喜久雄

▼工事請負契約の締結につい
て(平成二十四年度機能強化
事業処理施設設備等更新工事)

【原案可決】

■契約方法：指名競争入札

■契約金額：九九、二二五、
〇〇〇円

■相手方：旭川市忠和四条七
丁目四番十号

株式会社 テクノス北海道
代表取締役 橋本 昭彦

▼平成二十四年度中川町一般
会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞ
れ三一、六六七千円を追加し、
予算総額をそれぞれ三、三三
七、九九九千円とする

【原案可決】

主な補正内容は中川町住宅
新築・リフォーム促進助成金
及び中川町民プール改修工事
費などの追加



地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林のもつ地球環境保護、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、我が国は京都議定書において、第1約束期間である平成20年から平成24年までの間に、温室効果ガスを6%削減することが国際的に義務付けられているが、そのうち3.8%を森林吸収量により確保としている。

このような中、「地球温暖化対策のための税」が平成24年10月に導入される一方、「森林吸収源対策などの地球温暖化対策に関する地方の財源確保」については、「平成24年度税制改正大綱」において、「平成25年度実施に向けた成案を得るべく更に検討を進める」とされている。

もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

よって、下記事項の実現を強く求めるものである。

記

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年9月21日

中川町議会議長 佐藤 輝雄

問 高齢者への生活支援体制づくりについて

答 中川町の高齢化社会に 全力で取り組みます

これまで、過疎化対策として中川町は様々な施策を展開してきております。

移住対策など、施策展開がより重要になってくるものと感じています。

特に高齢者にとつては、医療・保健・福祉の対策だけでなく、本町の厳しい積雪寒冷環境に応じた、総合的な「生活サポート体制」の充実が望まれるところです。

これらの観点から、以下の3点について、現状と課題、今後の改善に向けた具体策をお示し頂きたいと思えます。

- ① 高齢者が安心・安全に暮らし続けて頂けるための「生活サポート体制について」
- ② 高齢者の健康維持・生きがいにつながる施策展開について
- ③ 高齢者を中心に町民全体がコミュニケーションを深め

られるための「拠点づくり」について

川口町長

- ① 一人暮らしの高齢者は年々増加傾向にあり、それに伴って、様々な社会的弱者と言われている高齢者の方々が多くなつてきております。

その中でも、買い物や交通手段、除雪など、生活全般に関わる弱者が顕著になつていることも認識をしているところであります。

本町においても買い物支援として配食サービスや自立ヘルパーによる家事援助、交通弱者については移送サービス、除雪困難な高齢者には除雪サービスなど、高齢者の生活支援として介護予防や生活支援事業などを実施しているところです。

中川町は小さな町だからできる地域特性を生かし、生活弱者が抱えている困りごとや



菊地広幸 議員

問題など詳細に把握をしながら、町内会自治会などと連携をし、高齢者の生活サポート体制を図る考えであります。

② 高齢者がいつまでも元気で生きがいをもつて生活できることは高齢社会の一番重要な課題であります。

特に、人とのふれあいや交流は一番の特効薬であり、その一つの方策として今年度から70歳以上の高齢者に対し温泉入浴料を無料にし、交流する機会を増やしたところであります。

人と人とのふれあい・交流が深まり、確実に高齢者の健康維持につながるものと期待をしているところであります。

いずれにしても、高齢者が生きがいをもつて生活をしていただけることが、心身の健康を維持する上で極めて大切であると十分に認識をしているところであり、何が必

要で何が有効的なのかをしっかりと見定めて、今後の高齢者施策に反映させる考えであります。

- ③ 高齢者のふれあいや交流は大切であり、行政としても支援を惜しまない考えであります。

その拠点として、時には温泉であり、ボランティア団体「つつじの会」の協力を得て社会福祉協議会が実施しております「ふれあい昼食会」であり、一部の町内会が行っている「ふれあいサロン」などがあります。

高齢者を含めた町民全体のコミュニケーションの拠点づくりの原点は「地域」であります。

行政主導から地域主導への拠点づくりのため、町民全体がコミュニケーションできる環境づくりに今後も取り組む考えでありますので、ご理解をお願いいたします。

再質問

高齢者や離農者の方に対して除雪費の助成を実施できないか。

川口町長

地域の冬期間の現状を調査し総合的に判断します。

再質問

住み慣れた地域を離れずに生活できるグループホームなど地域密着型施設の整備計画の進捗状況は。

佐藤住民課長

保健・福祉・医療の専門職員等とワーキンググループを設置し視察研修や具体的な協議を行っている段階です。



佐久地区公営住宅

問 本町経済産業の現状と課題

答 公共事業の今後の推移に 配慮したい

本町の豊富な農林資源の有効活用について、今後の対策方針を農業委員会や町としての具体策をお示しいただきたい。

また、公的事業対策について次の3点をお伺いいたします。

- (1) 今後の国の政策に基づいた本町の対策と計画方針
- (2) 公的事業の今後に向けた取り組み方について
- (3) 総合的な事業継続計画について

川口町長

①農業につきましては、国がまとめた「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針」に基づき、「地域農業マスタープラン」を作成し、関係する制度を活用して、後継者・担い手不足や耕作放棄地の増加に見られる「人と農地の問題」の解消に取り組んでまいります。

また、森林業につきましては、「中川町森林整備計画」の推進により、地域一体となつた「森づくり」をすることが森林資源の有効利用につながるものと考えております。

生産活動に最も重要な林道・林業専用道の開設および改良や森林作業道の開設を国の制度を活用して積極的に取り組んでまいります。

②道路事業につきましては、本町としては道路整備計画に基づき、計画的かつ着実に進めるため、積極的に予算の確保に努めております。

今後も、国や道との連携を強化し、引き続き「選択」と「集中」を基本に、事業の重点化と効率化を図りながら取り組んでまいります。

③住民生活の多様なニーズを的確に捉え、事業の効果・効率性を念頭におき、地域社会に寄与する社会資本整備を継続的かつ計画的に展開してまいります。



佐藤 正 議員

再質問

地域農業マスタープランを作成し、どのような政策をかげようとしているのか、具体的にお伺いします。

川口町長

今年の3月、第7次の中川町農業振興計画が策定をされ、中川町農業の課題、かなりきめの細かい方向性が示されており、この計画書に沿って全力で前に進んでいきます。

高橋産業振興課長

地域農業のマスタープランは、遊休地や荒廃地の各農地の集積の計画が主たる内容であります。その中で、中川町の後継者に対する給付金等の制度を活用した中での振興を図って行きたい。暗渠排水公共事業の対策については、JAが実施主体になり進めてまいりました。年次の計画、

中川町における最低規模の中で一定程度事業を、できる限り本年の事業を見直す中で進めていきたいと考えております。

再質問

中川町を残すためには、広域連携ではないでしょうか。地域存続を図っていくことが大きな課題であります。取組方をおたずねします。

川口町長

地域振興の本質は、雇用にあり、雇用を確保することが、地域振興の本質であります。

中川町の主な事業展開は、農業・林業であります。農業、林業を中心として様々な産業経済が連携をしながら、最終的に雇用を目指していくところは、道も同じと考えております。また、上川北部地域を結ぶものがまさに天塩川であり、国道40号線であります。これらを広域連携の確かな要素としながら、積極的に連携を広げること、中川町の将来というものを築いてまいりたいと思います。

再質問

短期的に何をやり、中期的

にどうやるのか、具体策を、行政内部で協議されているのかお答えをお願いします。

川口町長

中川町内でできる事については、行政の責任者として、スピード感をもって進めるべきだと考えております。問題は道・国との連携をしながら補助金、その他予算財源を確保しながらどう進めるかです。



誉二地区 町道整備

問 当面する行政課題の
具体的取組について

答 主要な課題に取り組みます

主要な行政課題についての
具体策をお伺いいたします。

①中川町農業振興センターが
担う具体的取組みと農業振
興の目指す施策方向性につ
いて

②行政改革の具体的対応につ
いて

③食育と学校給食の実態調査
について

川口町長

①地域の農業振興こそが地域
経済発展の基盤となり、本町
の農業が地域に力強く農業経
営者のみならず、広く町民の
皆様にも自覚を持っていただ
くことが重要であります。

本年度新たに設置した「中
川町農業振興センター」を農
業者と一体に取り組む農業振
興の拠点と位置付け、当セン
ターを中心に各農業者から事
業希望を聞き取り農業基盤の
整備計画を継続、更に中川ら
しい地域農業支援システムを



小川鉄吉 議員

確立するため、自給飼料一括
生産・貯蔵の取組みについ
て、具体策を検討中ですので
ご理解をお願いします。

②第2次中川町行政改革大綱
に基づく実施計画期間は平成
21年度に終了しております。
第2次大綱は中川町行政改革
推進委員会を組織し、住民から
の目線を取り入れた実施計画
の進管理をしてきたところ
であり、各種の財政指標から
は概ね健全な行政運営が継続
されてきたものと考えており
ます。

去る3月定例議会における
町政執行方針で、行革への取
り組みを述べたとおり、本町
の健全な行財政運営は、地方
財政フレームにおける状態で
あり、改革が終了したことを
意味するものではありません。
本町における行政改革大綱の
見直し、策定については庁舎
内の推進本部会議と行政改革

推進委員会のご意見を伺いな
がら、年内の策定に向けて取
り進めてまいります。地方行
革関連の内容を踏まえ、庁舎
内の推進本部会議で検討し、
実施計画についても推進委員
会からのご意見をいただきな
がら策定してまいりますので
ご理解をお願いします。

③食育することは人間にとつて
欠くことのできない最も重要
な事柄であると言っても過言
ではありません。学校給食と
いう課題についても、本町に
おける食育の推進の観点から
生涯を通し元気に自分らしい
生活を送るため食事や運動、
リズムある生活など、健康的
な生活習慣を身につけること
が大切です。

食育をめぐる現状と課題の
整理のために実施した町民の
食育アンケートの集約結果は、
小中学生における朝食摂取に
ついてはほぼ100%の摂取

率であり、家族との共食につ
いても小学生が85%、中学生
は70%が共食しています。野
菜摂取量についてはどの年代
も低く、国の平均値との比較
でも約半分量の摂取という結
果となり、野菜の摂取不足と
いう課題が浮き彫りになりま
した。

学校教育期に学校と家庭が
連携し、成長期の子どもにと
って不可欠な「よく体を動か
し、よく食べ、よく眠る」と
いう基本的な生活習慣を身に
付けることが大切であります。
健全な食生活を図るため、食
品に関する基礎的な知識や食
べ物を大切にする心など、食
に対する正しい知識と能力の
育成を目指した食育を進めて
まいりますので、ご理解をお
願いします。

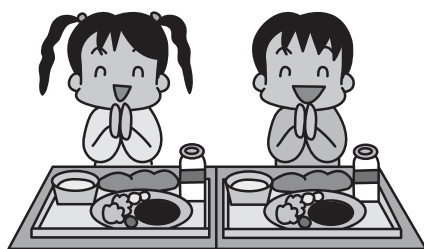
再質問

今回の答弁内容では、教育
委員会の考え方と町長の方向
と合致していないので、再度
教育長に答弁を求めます。

教育長

学校給食の実態調査につい
ては、1月26日の総務常任委
員会でお答えした内容のお

りでありますので、ご理解を
お願いします。



基幹産業の酪農業

問 ポンピラ温泉の大改修について

答 改修について早急に判断をしたい

現ポンピラ温泉は今の形態になって20年が経過しております。ポンピラ温泉の今後について町長の所見をお伺いいたします。

①ポンピラ温泉の存在認識についてどのように思われているか。

②現施設は建設後20年経過して改修や改良がなされて今に至っておりますが、今後大改修が発生すると思われませんが、この対策について早急な決断の時期が来ており、改修改良か再建築による新たな施設かについて。

③経営形態について。町直営・委託運営か。現公社形態の存続などいろいろ考えられ其々に長短があると思われませんが、指定管理者制度がある以上町が大きく関与する形態が最良では。

④運営などに大きく関与する協議会組織の立ち上げによ

る民意反映の考えについて。

川口町長

平成5年度から「ポンピラアクアリズイング」に名称を変え新築オープンし、以来20年町民の健康増進と憩いの場並びに町民に来町者接待の場として利用されてきました。

①中川町の顔として町内外への話題を発信する役目を果たしてきましたし、住民の期待度も極めて大きく住民福祉や観光振興など本町にとって欠くことのできない施設であります。

②今後の大改修については、施設の装備や内装等は更新し躯体についての改修は平成17年度の建物診断では修繕が必要でありまた耐震補修については調査中であります。改修改良による施設維持か再建築による新たな施設かについては議会など多様なご意見を伺い、早急に判断をしてまいり



鎌塚一成 議員

ます。

③町としてポンピラ温泉の運営に主体性を持つことが必要であると認識し、今後のあり方を検討してまいります。

④町民や利用者の思いを聞くための意見交換会を随時開催し、今後委ねる運営企業体と協議を重ねたい。

再質問

観光関連施設の一体的運営の考えは。

川口町長

望ましいと思うが、今のところは現況で考えるが、もつと各施設が連携した運営を指導してまいりたい。

再質問

70歳以上を無料化した根拠は。

川口町長

合理的説明は出来ないが、一つの区切りとさせていた

再質問

ポンピラアクアリズイングの名前を「ポンピラ温泉」にしては。

川口町長

町民になじめる名称・施設に向かって努力したい。

問

すまい

住環境整備について

答

適切な維持管理の強化に努めます

町営住宅の建設促進の観点と、町営住宅改修による住環境整備と老朽化公住の対策。そして主に空家の環境整備（取り付け道路・各戸菜園整備等）の推進と不要住宅や空き地の処分についての売り払いや取り壊しの処分の考えについてお伺いいたします。

川口町長

中川町公営住宅等長寿命化計画に基づいて進めてまいります。具体的には耐用年限を

経過している住宅は用途廃止を計画的に実施。平成31年度までの計画期間での建替事業はありません。また用途廃止後の用地については有効に活用してまいります。

空家の環境整備についても適切な維持管理の強化に努めます。安全で快適な住まいの確保に団地別・住棟の活用手法を定め長期的な維持管理を徹底してまいります。



憩いの場ポンピラアクアリズイング

議会報告会

10月3日(水) 佐久地区公民館
10月4日(木) 保健センター・集団検診室



議会報告会を、10月3日及び4日に町内2か所で行いました。2会場で31名の町民の皆さんのご参加をいただきました。あらためましてご参加をいただいた町民の皆さんに心から感謝とお礼を申し上げます。

この度、町民の皆さんからいただいたご意見、ご提言につきましては、議会運営委員会において議論を深め今後の議会活動にいかしてまいります。

主な報告事項は、次のとおりです。



佐久地区会場



中川地区会場

主な報告事項

- 議会アンケート集計結果について
- 議会改革活性化に対する議員提言について
- 議会活動報告について
- ① 総務常任委員会報告
- ② 経済常任委員会報告
- ③ 議会運営委員会報告
- ④ 広報特別委員会報告
- ⑤ 西天北五町衛生施設組合議会報告
- ⑥ 上川北部消防事務組合議会報告
- ⑦ 議員会報告

議会を傍聴しませんか

議会活性化のために、多くの町民の皆さまの傍聴をお待ちしております。



進む災害復旧現場

〔被災状況〕

〔復旧状況（完成）〕



富和地区 町道災害復旧現場



中川二地区 町道災害復旧現場



誉地区 農地災害復旧現場



大和地区 林道災害復旧現場

議会目誌

七月

二十二日 中川商業高等学校校祭
自民党北海道第六選挙区
支部「移動政調会」〔旭
川市〕

二十五日 七町村議会議員研修会
〔幌加内町〕

三十一日 第七回議会運営委員会
第九回全員協議会
第二回臨時会

〃 〃

八月

二日 中川まつり（四日まで）
五日 北口ゆうこう道議と語る
道政報告青空の集い〔士
別市〕

六日 経済常任委員会
七日 北海道電力天塩営業所長
より節電協力要請

十四日 総務常任委員会
十六日 中川町納涼盆踊り大会

二十一日 議会広報研修会〔札幌市〕
（二十三日まで）

二十六日 第四十四回中川町スポー
ツ少年団創立記念柔道・
剣道大会

二十七日 総務常任委員会
二十八日 西天北五町衛生施設組合
議会〔幌延町〕

〃 中川町自衛隊後援会設立
総会

二十九日 経済常任委員会現地調査
（三十日まで）

九月

三日 第八回議会運営委員会
四日 上川北部市町村議会議
長会九月定例会〔下川
町〕

六日 森づくり講演会
十一日 第九回議会運営委員会
十三日 中川町敬老会
十八日 めざせ「市民が主役」
の政治 旭川フォーラ
ム〔旭川市〕

〃 松本剛明民主党国会対
策委員長代理との意見
交換会並びに要望会
〔旭川市〕

〃 農林水産副大臣 衆議
院議員 ささき隆博ふ
るさとの集い

十九日 第十回全員協議会
第三回定例会（二十一
日まで）

〃 中川中学校校祭
二十三日 第三十回なかがわ秋味
まつり・第二十四回北
海道丸太押し相撲大会

〃 議会報告会（佐久）
四日 議会報告会（中川）

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃



ふれあい広場（9月8日）～山村開発センター～



北海道町村議会広報研修会
講師 城市 創
（8月23日）～札幌市（ポールスター）～

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」。冬の寒さは春分ころまで、夏の暑さは秋分ころまでに和らぐことを言います。

しかし北海道は8月のお盆が明けると涼しくなる時期ですが、9月に入っても真夏日が続き全道各地で観測史上最高気温を記録しました。この猛暑の影響で町民の皆様は健康面で大変な思いをされたのではと察しております。第3回定例会初日もかなりの暑さで、どうなることか？と思わせましたが最終日にはその暑さも消え、やっと「暑さ寒さも彼岸まで」の通りとなり、秋が来た感じになりました。

秋もたけなわ！
スポーツの秋・食欲の秋・読書の秋と言われ多忙な日々が続くと思います。

町民の皆様には健康管理に十分気をつけて健やかに毎日を過ごされることを願うところです。（広）



議会広報特別委員会

委員長 鎌塚一成

委員 菊地広幸